

# ついでにミニネットワーク

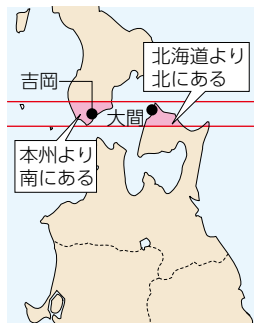
ミニネツ  
No.39

## 「緯線」に注目

経度と緯度の学習は、その便利さやおもしろさのさかなかなか伝えられません。そこで今回は次のような授業をします。

①青森県と北海道はどちらが北にありますか。

子どもたちは「北海道に決まってるよ!」と言うでしょう。そこで地図帳を開いて、次の部分を見せます。



青函トンネルの北海道側の出口がある吉岡と、マゲロで有名な青森県の大間に注目させます。そして「吉岡と大間はどちらが北にありますか」と問います。地図には、右のように緯線と平行に線

を引きます。すると、大間のほうが吉岡よりも北にあることが一目瞭然となります。「横線を引くと、どちらが北でどちらが南かよくわかりますね。この横線を『緯線』といいます。この場合『大間は吉岡より高い緯度にある』と言えます」と説明します。これを活かして次の問いに進みます。

②ロシアと日本はどちらが北にありますか。

↓ウラジオストクと北海道はほぼ同緯度です。

③アルジェリアと日本はどちらが北にありますか。

↓ほぼ同緯度です。

④イギリスと日本はどちらが北にありますか。

↓イギリスは北海道より北の樺太とほぼ同緯度です。緯線に着目した問いで、子どもたちの地図に対する「先入観」が覆されます。